



ラボの紹介



帝京平成大学



1. 調査研究の概要



テーマ

自己調整学習の手法を援用した遊戯性を伴う探究的活動と学習者自身の振り返り機会の提供による不登校児童生徒の興味・主体性の発見

検証内容

活動時の動画や音声等の記録データと、子供の振り返りの記述内容を比較しながら、子供一人ひとりの興味・主体性を引き出す手法を分析・検証

対象

小学3年生～中学2年生

実施時期

R6年12月～R7年3月(8回)

実施場所

協力フリースクール及び
大学(中野キャンパス)

活動内容

音楽、運動、造形、人間関係の4分野において、遊戯性を伴う探究的活動の体験と、体験を通じた子供自身の振り返りを実施

活動内容

第1回	造形①アートカード鑑賞	<ul style="list-style-type: none">●1回の活動時間:90分程度● 動画・写真・音声による記録 + 振り返りの記述内容● 各記録を比較しながら立体的に子供の姿を捉える <ol style="list-style-type: none">1)各回での変容2)継続参加による時系列的な変容3)同様の活動を行った他の子供との横断的な比較
第2回	造形②アニメーション制作	
第3回	人間関係①幼児との関わり	
第4回	音楽①音の探検	
第5回	音楽②「音の絵本」作り	
第6回	運動①スポーツスタッキング	
第7回	運動②鬼ごっこ	
第8回	人間関係②プレゼントと自己肯定	

活動概要

2. 調査研究活動の様子(1)



第1回:造形①アートカード鑑賞



好きなアートカードを選び、題名を考えている様子

第2回:造形②アニメーション制作



粘土で作った作品を動かして、コマ撮りアプリで撮影している様子

第3回:人間関係①幼児との関わり



幼稚園児に贈るためのスノードームを制作している様子

第4回:音楽①音の探検



珍しい楽器の音の出し方や名前を考えている様子

2. 調査研究活動の様子(2)



第5回:音楽②音の絵本作り



好きな絵本を選び、絵本の場面に合う音を探している様子

第6回:運動①スポーツスタッキング



スタックスカップをどれだけ多く積めるか挑戦している様子

第7回:運動②鬼ごっこ



体育館に引かれたラインを使って鬼ごっこをしている様子

第8回:人間活動②プレゼントと自己肯定



幼稚園児に見せるためにスライムを作っている様子

3. 調査研究活動の関係者の声



参加児童生徒の声

- 楽しいと思うことがたくさんあり、みんなと仲良くなれて嬉しかった
- 周りの大人たちが優しくサポートしてくれるので、「もっとやってみたい」という気持ちになった
- 同じフリースクールで喋れていなかった人と関わったり、違うフリースクールの人たちとも話せるようになったことが、活動前の自分と変わった部分だと思う

フリースクールスタッフの声

- 子供たちの気持ちや安全安心が保証されている環境だと、学びたいという気持ちになるということに気づいた
- 他のフリースクールの子供たちへの気遣いやサポートができるようになり、フリースクールでもスタッフの手伝いなどを積極的に行うようになって驚いた
- 活動に参加して、友達との関わりや会話が増えたり、家庭でも自分のことや楽しかったことを積極的に話すようになったり、想像以上に子供たちの心の中で変化が起こった

ラポメンバーの声

- 活動することを目的にせず、子供たちがどんな思いを持って活動しているのか、そこに寄り添っていくことを大切にしたいという思いで取り組んだ
- 回を重ねるごとに、当初の想定以上に子供たちが自然に打ち解けていく様子が見られた
- 他者に認められたり、承認のシャワーを浴びることで、自分らしさを発揮できるようになっていく様子が見られた
- 活動から離れてもいつでも戻れる安心感や雰囲気、子供の主体性や前向きな気持ちに寄り添うためのヒントになる可能性がある